

議会体験会の反省点等について

1 良かった点

従来のような単独開催と比べ、イベント開催に合わせて行ったことで、幅広い世代の市民が多数参加して、市議会を身近に感じてもらう目的が十分に達成出来た。

2 改善を要する点

(1)参加者の共通認識

当日は、グループ毎の役割に沿って動いたが、共通の認識が図れておらず、グループで動きが違う場面が見られたため、事前に全員が集まって当日の動きについて確認する必要があると感じた。

(2) わこらぼ実行委員会との関係

議会報告会の開催について、わこらぼ実行委員会への事前の連絡が不十分であった。

(3)案内・誘導員の配置

議場が3階にあるため議会棟1階エレベーター付近と3階エレベーター前に案内を配置したが、議場案内係の担当か？わこらぼ会場案内係の担当か漠然としていたので、具体的な人員配置を視野に入れてグループ編成する必要があると思う。

(4)飲食物の持込み

わこらぼの流れで足を運ぶ人が多く、飲み物等を持ちながら来た人をそのまま議場に入れてしまいましたが、その場で断るべきか？特に決まっていなかったなので、次回も同じ様にやるならその様な場面を想定した対応を決めるべき。

(5)模擬本会議での質問

模擬本会議では参加者が積極的に手を上げて質問をして、良い雰囲気で行ったが、質問の実施要領を一度議員が展示してから参加者の質問に入る様にしたら流れが良かったのでは？と思いました

(6)要約筆記の文字起こし

模擬本会議の発言者の声が小さくてICレコーダーの音声小さくて聞き取りづらかった。

来年度も行うようなら別な方法を検討してほしい。

やさしい未来へ歩む会 議会体験会反省点

【日程について】

- ☐ わこらぼまつりと同日にするのは避けていただきたい。
(わこらぼまつり企画運営委員会からも苦情あり。議会側の説明も委員長が押し通したということだったので、議会に対してのイメージも悪くとられた)
- ☐ 今回のトラブルを踏まえれば、あらかじめ運営委員会とも協議のうえ、わこらぼまつりに正式に参加するという方法もあったのではないかと思う
- ☐ 運営委員会に迷惑をかけてしまったことは反省点であるが、今回わこらぼまつりと同時に開催させていただけた事に大変感謝をしている
- ☐ 議会報告会等々、工夫する事で、人は集まると思います。日程は土日、夜でもいいのでは

【企画について】

- ☐ 当初、議場見学、写真撮影のみの予定だったが、初企画の模擬本会議は良かった
- ☐ 本来の3月議会の議会報告を議場で15分程するのも良かったのではと感じた
- ☐ 幅広い世代の多くの方に来ていただけて良かった。議会や議員に触れる良い機会になったのではないか
- ☐ 市内在住とか市内在学などという制約がなかったのも喜ばれた

【当日の運営について】

- ☐ 全体の流れも比較的スムーズで、いらした方にご迷惑をかける事もなかった
- ☐ 障害者の方々(全盲の方)が質問する際、手すりがあって良かった
- ☐ 色々な方々が議場等々に入っていただくことで、私たちの気付かないバリアフリーに気付けます

【今後について】

- ☐ 模擬本会議実施に向けての内容検討
 - ・子ども議会(小学生対象)
 - ・子ども議会(中学生対象)
 - ・高校生議会
 - ・大人議会(大学生以上、日曜日もしくは夜)
 - ・逆転議会(市職員対象)
 - ・人生の先輩議会(高齢者対象)
 - ・障害者議会(障害をお持ちの当事者、ご家族)
- ☐ 50人目もしくは、100人目来場記念として議長役をしてもらう(原稿を用意)
- ☐ 今回実施できなかったライブ中継の実施

2024 年5月議会報告会 感想

公明党

- ①多くの見学者、模擬議会参加者で、小学生が積極的に質問する姿に感動しました。
- ②普段は入れない議場の見学～市長席に座って、写真を撮ったり、一番上段の議長席も人気があり、記念写真を撮って喜ばれている姿印象的でした。
- ③模擬本会議では、意外にも、市民からの質問の手がすぐ上がり、その質問に答える議員の姿も新鮮でした。
- ④子どもの体験会と大人の体験会の2部制にするのもいいと思いました。
- ⑤多くの方が大変喜ばれていて、よかったと思います。
- ⑥事務局の細やかな準備と、議員3グループの連携で、よい運営ができたと思います。

令和 6 年 6 月 7 日

「令和 6 年 5 月 25 日開催の和光市議会体験会」反省点等

会派 新しい風・希望

○日程の設定について	・イベントと同日開催だったことから、多くの方に案内はできたと感じた。イベントと併せた開催を検討してはどうか。
○議場見学について	・イベント会場から誘導は、連携がとれていたと感じる。 ・親子連れなど、多くの参加があったと感じる。 ・模擬本会議後にも写真撮影などの余裕があればよかったのではないかな。 ・担当の割り振りを考慮する必要があるが、委員会室の見学も併せて行うことを検討してはどうかと考える。
○模擬本会議について	・小学生及び中学生の参加が多く見られたことは、議会に関する関心が高いのではと感じた。また、日頃感じていることを聞くことができた点は、よかったと認識をする。 ・従来の報告会と同様だが、不確かな回答を避け、事後にホームページで回答ということを徹底しておくことが必要と感じた。 ・個別の案件についても、直接は避けて、報告会後にホームページにて回答等の対応を検討しておく。 ・開会時間の長さについては、初めての開始であり、今後模擬議会行う場合には、改めて検討してはどうかと考える。 ・全議員で答弁を行うということも考え、開会時間によっては、途中で交代するというところも検討してはどうかと考える。 ・参加者の全員からの発言時間、回数については、参加者全員から意見が出やすい方式を行う。実際には、意見交換の状況で進行役が対応することによいのではないかな。
次回の報告会	・従来どおりの決算審査の概要報告、意見交換会にするか検討していく。 ・「出前報告会（意見交換会）」として、普段聞く機会がない施設等に出向いて行う方法も検討してはどうか。 ・テーマを決めて行う方法、または、参加者それぞれの意見を聞いて進める方法かの検討が必要ではないかな。 ・進行方法について、前記の方法も含めて開始時に十分に説明をしておくことが必要ではないかな。 ・記録は、2名とレコーダーはそのままの体制がよい。 ・要領内容については、開催形式等を踏まえて、踏襲するものと開催毎に検討するものとの検討していく。 ・決算審査概要について報告する場合は、項目、図表、写真など分科会で協議、作成してみてもどうか。

国民民主党・日本維新の会

- ・日程の検討については、早期に着手し、他の行事とのダブルブッキングがないようにすべき
- ・アンケートの後日の集計が大変なため、当日の役割にアンケート集計者を入れ、後日まとめる形にはしないようにすべき
- ・挨拶などは簡易的にし、質問などが出やすい空気感を作ることが必要
- ・わこらぼまつりのスタンプラリーの中に「100人で話し合いをする場所」（正解は100人会議）というチェックポイントがあり、市議会だと誤認して来られる人が多かった。

赤松祐造議員

今回の議会報告会を議会体験会にして、お子様様から大人までどなたでも参加できるようにしたのは総合的には良かったと思います。

わこらぼまつりと同時開催に当初は不安があったが、チラシ勧誘で議場見学、写真撮影会に親子、子供達を無理なく勧誘できた。
市民が議場を見て和光市議会を身近に感じられたと思います。

次世代の議場体験：小学生、中学生の模擬本会議は思ったより良かった。

大人の質問者が2名だけと少なかったのは課題、次回は工夫が必要。

萩原圭一議員

- (1) 全体的に 議員の答弁の音量が小さく 聞こえにくかったので、何を話しているか 参加者はあまり理解できていないように見えた。
マイクに近づいて話すように意識すべきと感じた。

- (2) 何を質問するか困っている子どもたちのサポート役として、議員を2～3人 割り当てたほうが質問しやすくなる。

吉田活世議員

予想より多くの市民の方にご来場いただき大変うれしく思いました。

また、子供たちの質問づくりのお手伝いをし、テーマ選びに迷う様子を見て自分自身に重ねた部分と、子供らしい感性や日々の学習成果から出る鋭さが大変

勉強になりました。

反省点は全ては挙げ切れませんが、アンケートで地区が一つ抜け落ちていたことや、スタンプラリーの会場と間違った方が幾人かいました。また、議会体験では、質問を考える際、議会だよりをベースにすると、内容が解らず質問には繋げられなかったようです。自分の身近なところからの質問が多く出ました。解説文をそえるなどの工夫があると良かったのかもしれない。